

大規模公共事業評価再評価調書の概要

(徳田橋^{とくたばし} 地域連携道路整備事業(地域密着型))

担当部署: 県土整備部 道路建設課

1 事業概要 (路線名: 一般県道大ケ生徳田線、所在市町村: 盛岡市、矢巾町)

○事業目的: 一般県道大ケ生徳田線は、盛岡市大ケ生と矢巾町西徳田を結び、北上川を渡る徳田橋 (S37 架橋) は、盛岡市の住宅地と矢巾町市街地を結ぶ通勤通学ルートであるため、地域住民の生活道路としての役割を担っている。

また、令和元年9月には岩手医科大学附属病院が矢巾町西徳田地区へ移転し、救急搬送ルートとしても重要な路線である。

しかし、当該地区に架橋されている徳田橋は老朽化に伴う床版や伸縮装置の補修のため交通規制が生じていること、幅員狭小のために大型車のすれ違いが困難となっており、近隣工業団地からの生産品の搬出等に支障があることなど、円滑な交通の支障となっている。

このことから、現道の徳田橋を架替え、また前後区間についても道路改良を行うことにより、橋梁の老朽化の解消及び大型車すれ違い困難箇所の解消や歩行者等の安全性、快適性が向上されることにより安全で円滑な交通機能が確保される。

○事業内容: 計画延長 1,200m 計画幅員: 6.5(16.0)m 橋梁延長 365.0m

○事業期間: 平成 23 年度～令和 10 年度(事前評価時: 令和5年度)

○総事業費: 9,065 百万円(前回評価時: 6,500 百万円)

令和2年度までの投資額: 5,017 百万円、進捗率 55.3%

2 事業の進捗状況等

○左岸側 A1 橋台及び橋脚全 5 基が完成しており、令和2年7月までには右岸側の A2 橋台工事及び上部工工事が契約済みであり、当該橋梁前後区間の道路改良工事についても一部着手している。

○用地取得率は 91%であり、残りの用地取得についても交渉が進んでいることから、事業を進める目処が立っている。

3 社会経済情勢等の変化

○令和元年9月には岩手医科大学附属病院が矢巾町西徳田地区へ移転し、救急搬送ルートとしての役割を担っていることから、早期の供用開始を求められている。

○当該区間は、盛岡市や矢巾町等から整備促進を求める要望がある。

4 コスト縮減対策及び代替案

○コスト縮減対策は、橋梁の主桁規格や桁数の見直しや使用材料の規格変更により、約 94 百万円の縮減を図ることとしている。

○事業進捗率は 55.3%(事業費ベース)であり、現時点で予想される社会経済情勢、自然環境等の大きな変化が無い場合、代替案立案の可能性は無い。

5 総合評価

○事業の進捗率は 55.3% (事業費ベース) である。

○「事業の進捗状況等」については、総事業費の変更と年次計画の変更はあるものの、用地取得率は 90%を超え、河川管理者との協議も整っており、橋梁及び道路改良工事を順調に推進している。

○「社会経済情勢等の変化」については、令和元年9月に岩手医科大学附属病院が矢巾町西徳田地区へ移転し、当路線が救急搬送ルートとしての重要な役割を担っていることから、早期の供用開始が求められている。

○以上のことから、総合評価を「事業継続」とした。

事業名	地域連携道路整備事業 (地域密着型)	補助	単独	担当部課名	県土整備部道路建設課
路線名等	一般県道大ケ生徳田線 <small>おおがゆうとくたせん</small>	地区名	徳田橋 <small>とくたばし</small>	市町村	盛岡市、矢巾町

〔事業根拠法令等： 道路法第15条、第56条〕

事業概要

(1) 事業目的

- 路線の位置付け
 - ・一般県道大ケ生徳田線は、盛岡市大ケ生を起点とし、矢巾町西徳田に至る路線であり、北上川を渡り、一般国道4号や盛岡南IC等の交通拠点と一般国道396号を結ぶ重要な幹線道路である。
 - ・北上川以東の盛岡市の住宅地と矢巾町市街地を結ぶ通勤通学ルートであり、地域住民の生活道路としての役割を担っている。
 - ・令和元年9月には岩手医科大学附属病院が矢巾町西徳田地区へ移転し、救急搬送ルートとしても重要な路線である。
- 事業目的
 - ・当該地区に架橋されている徳田橋（S37架橋）は老朽化に伴う床版や伸縮装置の補修のため交通規制が生じていること、幅員狭小のために大型車のすれ違いが困難となっており、近隣工業団地からの生製品の搬出等に支障があることなど、円滑な交通の支障となっている。
 - ・橋梁の前後区間においても線形不良による見通しが悪く、人身事故が発生しており、安全な通行の支障となっている。
 - ・このことから、徳田橋を架替え、幅員狭小及び線形不良区間を解消し、大型車、救急車両等の通行確保と生活道路としての機能向上を図るとともに地域の産業の向上を支援するものである。
- 整備によって得られる効果
 - ・橋梁の老朽化の解消及び大型車すれ違い困難箇所の解消や歩行者等の安全性、快適性が向上されることにより安全で円滑な交通機能が確保される。

(2) 事業内容

- ・計画延長：L=1,200m、計画幅員：W=6.5(16.0)m、橋梁延長：L=365.0m

(3) 整備目標等

- ・大型車すれ違い困難の解消：L=1,200m
- ・歩行安全性・快適性の向上（歩道設置延長）：L=1,200m（両側歩道）

事業着手	H23年度	事業計画期間	H23	～	R10 R5	用地着手	H26年度	工事着手	H29年度	
事業費	当初計画 総事業費 H23年 <small>(うち用地費)</small>	再評価時 総事業費 R2年 A <small>(うち用地費)</small>	事業費の状況				〔百万円〕			
			H23年～ B	H30年 C	R1年 D	R2年 E=B+C+D	投資事業費		進捗率 F=E/A	
	6,500.0 (1,599.0)	9,065.3 (1,270.0)	3,376.7 (1,125.0)	816.7 (0.4)	824.0 (130.0)	5,017.4 (1,255.4)	財源	国庫 2,609.2 県単 1,584.1	55.3%	

事業の進捗状況等

(1) 事業の進捗状況

ア 整備効果の発現状況

- ・供用を開始していないため、整備効果の発現はない。

イ 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し

【事業期間】

①理由
河川管理者との協議結果による工事工程の見直しや、用地取得に時間を要したことに伴い、当初評価時より5年延伸が必要となった。

②解決の見通し（難易度）

- ・下部工7基のうち6基が完成しており、道路改良も一部着手している。
- ・現在進めている下部工工事完成後、切れ目なく上部工工事（令和2年7月契約予定）を実施できる見込みであり、残る用地取得の目処も立っていることから、計画に基づき令和5年度内に効果発現（供用開始）できる見込みが立っている。
- ・旧橋撤去方法については、河川管理者との協議が概ね完了していることから、供用開始後に撤去を進め、令和10年度に完了する見込みである。

○中項目評価は、事業完了年度が事前評価時より5年遅延となるものの、今後は計画に基づき事業進捗が見込めることから「b」とした。

中項目評価 a . **b** . c

事業の進捗状況等

(2) 事業計画の変更の有無及び内容

【事業費】

- ・上部工の設計や施工方法の見直しによる増額
 - ①床版工：RC床版→プレキャストPC床版へ設計変更
 - ②高欄工：景観検討委員会による防護柵の追加
 - ③仮設工：河川協議による仮設範囲の拡大等
- ・労務費や資材単価等の上昇による増額

○金額が増額となったものの、事業内容等に大幅な変更はないため中項目評価を「b」とした。

中項目評価 a . **b** . c

○中項目評価が「b」、「b」であることから、大項目評価を「BB」とした。

評価 AA . A . **BB** . B . C

(1) 事業に関する社会経済情勢

ア 全国の状況

- ・東日本大震災津波や熊本地震、九州北部豪雨等による「被災地の復旧・復興」、「国民の安全・安心の確保」、「生産性の向上と新需要の創出による成長力の強化」及び「豊かで活力ある地域づくり」の4分野に重点化し、施策効果の早期発現を図ることとしている。
- ・近年激甚化している災害により全国で大きな被害が頻発している状況から、平成30年12月に閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための3ヶ年緊急対策」について、集中的に取り組んでいくこととしている。

イ 本県内の状況

- ・「いわて県民計画」においては、産業を支える社会資本の整備や安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備を重点的な政策の柱として掲げており、この中で道路整備は、地域産業の競争力の向上を目指し、工業製品や農林水産物等の物流の円滑化を図る幹線道路ネットワークを構築することや、地域間の交流・連携の基盤となる広域振興圏相互や隣接県を結ぶ道路の整備を推進するとともに、通勤・通学などの日常生活を支える道づくりを進めることとしている。

ウ 施工地域における状況

- ・盛岡市、矢巾町等より当該道路の整備促進について要望がある。
- ・令和元年9月、矢巾町西徳田地区に岩手医科大学附属病院が移転。

○当該事業のあり方についての議論や見直しの検討がないことから、中項目評価を「a」とした。

中項目評価 (a) . b . c

(2) 事業に関する評価指標の推移

評価指標		配点	事業着手時 評点(A) H23	今回再評価時 評点(B) R2	増減 (B)-(A)	備考
必要性	車道等幅員	5	5 (現況6.0m)	5 (現況6.0m)	0	6.0m<既定値9.5m-2m
	曲線半径	5	3 (現況105m)	3 (現況105m)	0	105m<既定値150m
	縦断勾配	5	0 (現況4.0%)	0 (現況4.0%)	0	4%<既定値5%
	歩道設置の必要性	3	3 (必要)	3 (必要)	0	※1
	混雑度	2	0 (混雑度0.99)	0 (混雑度0.74)	0	
	定時性	2	2 (14.5km/h)	2 (11.6km/h)	0	11.6km/h≥10.0km/h
	事故率	3	3 (67.5件/億台キロ)	1 (17.7件/億台キロ)	-2	17.7件/億台キロ <50.0件/億台キロ
	過疎地域等の振興	5	0 (該当外)	0 (該当外)	0	
計	30	16	14	-2		
重要性	ネットワークの位置付け	5	2 (該当外)	2 (該当外)	0	
	産業振興、生活支援	15	15 (5項目)	15 (5項目)	0	※2
	計	20	17	17	0	
緊急性	関連事業の有無	5	5 (岩手医科大学)	5 (岩手医科大学)	0	岩手医科大学附属病院移転事業
	冠水対策、主要渋滞ポイント、老朽橋、通行不能区間、通行危険箇所等	5	5 (老朽橋)	5 (老朽橋)	0	老朽橋(徳田橋)
	部分供用の有無	2	0 (無)	0 (無)	0	
	10km以内に迂回道路	3	0 (有)	0 (有)	0	
計	15	10	10	0		
効率性	費用便益比(B/C)	20	20 (B/C=3.0)	18 (B/C=1.9)	-2	
熟度	用地取得の進捗状況	3	2 (50%)	3 (91%)	1	
	地元要望	12	12 (有)	12 (有)	0	
	計	15	14	15	1	
計	100	77	74	-3	(今回再評価時/前回再評価時) 96%	

※1 : 通園通学路指定、指定見込み、前後区間連続性確保

※2 : 製造業支援、観光支援、救急医療アクセス、公共施設アクセス、通園通学路の安全性向上

○ 費用便益分析

費用便益分析手法:費用便益分析マニュアル(2018(H30)年2月)、道路投資の評価に関する指針(案)第1編(1998(H10)年6月)、第2編(1999(H11)年11月) (単位:百万円)

区 分		事業着手時 H23年	再評価時 R2年	
費用項目	改築費	4,873.1	8,409.5	
	維持費	46.5	58.9	
	総費用(C)	4,919.6	8,468.4	
便益項目	3便益	時間短縮便益	8,748.5	
		走行経費減少便益	946.1	
		事故減少便益	45.0	
		①	9,739.6	6,825.2
	その他便益	環境改善便益	-2.5	1.3
		拡張便益	4,836.4	9,571.7
		②	4,833.9	9,573.0
	小計(①+②)	14,573.5	16,398.2	
	修正便益	③	5,144.4	6,669.5
	総便益	①+②+③	19,717.9	23,067.7
費用便益比(B/C) B(①+②)/C		3.0	1.9	
(参考)修正費用便益比 B(①+②+③)/C		4.0	2.7	
参考 将来交通量		9,200台/日(R12)	12,700台/日(R12)	

※費用便益分析において地域特性等考慮すべき特記事項

- ・参考として、地域修正係数による修正便益を考慮したB/Cを算出している。

○ 関連する開発プロジェクト等の状況

- ・特になし。

○各評価指標の評点の合計が、事業着手時の90%以上であることから、中項目評価を「a」とした。

中項目評価 (a) . b . c

(3) 自然環境等の状況及び環境配慮事項

ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分

- ・岩手県自然環境保全指針による保全区分 E
- ・希少野生動植物生息の有無 なし
- ・埋蔵文化財包蔵地の有無 なし
- ・その他:景観検討委員会の設立(H22.2.23設立)

イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

- ・実施事業にあたり、広域局で開催される希少野生動植物調査検討委員会に諮り、有識者より施工への意見等はない。

《環境等への配慮に要する経費》

- ・再生AS合材や再生砕石を使用(約82,724千円)
- ・道路環境調査の実施(約5,238千円)
- ・切土・盛土については植生緑化(248千円)

○自然環境保全指針の「優れた自然」の保全区分毎の保全方向に沿って積極的な対応をしていることから、中項目評価を「a」とした。

中項目評価 (a) . b . c

○中項目評価が「a」、「a」、「a」であることから、大項目評価を「AA」とした。

評 価 AA . A . B . C

コスト削減対策及び代替案立案の可能性

(1) コスト削減対策の実施状況及び今後の可能性

- ・主桁の規格及び桁数の見直しによる削減額 約93,000千円
- ・使用材料の規格変更による削減額 約 1,200千円

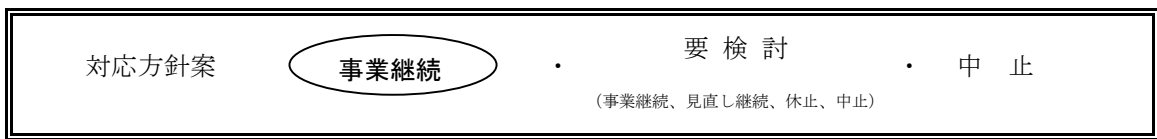
(2) 代替案立案の可能性

代替案として考えられる他の事業手法

事業区間のルートは、下記理由により代替案立案の可能性はない。

- ・都市計画決定済みのルートであること。
- ・橋梁前後の用地は約9割取得済みであること。
- ・下部工は7基のうち6基が完成しており、令和3年度に下部工全てが完成する見込みであること。

(1) 総合評価



(事業名) 地域連携道路整備事業 (地域密着型) 一般県道大ケ生徳田線 徳田橋

着手年度	完了予定年度	投資事業費 (百万円)	進捗率 (%)	(1) 事業進捗状況			(2) 社会経済情勢			参考		
				進捗状況	計画変更		社会経済	評価指標	自然環境	評点	B/C	
H23	R10	5,017	55.3%	BB	b	b	AA	a	a	a	74	1.9

(修正B/C=2.7)

○総合評価に係るコメント

【再評価の総括】

- ・「事業の進捗状況等」については、総事業費の変更と年次計画の変更はあるものの、用地取得率は90%を超え、河川管理者との協議も整っており、橋梁及び道路改良工事を順調に推進している。
- ・「社会経済情勢等の変化」については、令和元年9月に岩手医科大学附属病院が矢巾町西徳田地区へ移転し、当路線が救急搬送ルートとしての重要な役割を担っていることから、早期の供用開始を求められている。
- ・以上のことから「事業継続」としたものである。
- ・なお、評価基準年以降の総費用、総便益により算出したB/C (残事業B/C) は、4.0となる。

総合評価

※評価対象事業の位置図、計画平面図、標準横断図等を添付のこと。

大規模公共事業 再評価調書 (付表)

事業名	地域連携道路整備事業 (地域密着型)		補助・単独	担当部課名	県土整備部道路建設課
路線名等	一般県道大ヶ生徳田線 <small>おおがゆうとくせん</small>	地区名	とくたばし 徳田橋	市町村	盛岡市、矢巾町

- 1 現在までの事業の経緯等
- ・H 9年度 概略設計
 - ・H11年度 沿線の事業者計画説明
 - ・H12年度 橋梁予備設計
 - ・H17年度 都市計画変更決定 (昭和49年都市計画決定)
 - ・H21年度 道路予備設計、景観検討委員会設立
 - ・H23年度 国庫補助事業による事業採択
- ・H26年度 用地買収開始
 - ・H29年度 工事着手
 - ・R 1年度 橋脚全5基完成
- 2 住民意見の状況及びこれに対する対応
- ・当該工区については、盛岡市及び矢巾町より、当該道路の整備促進に要望があり、今後も引き続き道路整備を推進していくこととしている。
- (近年の要望状況)
- 国民民主党岩手県総支部連合会 (R1年12月25日)
 - 滝沢市 (R1年7月22日)
 - 盛岡市 (R1年8月2日)
- 3 費用便益分析の詳細 (算定方法、算出根拠等)

費用便益分析手法:費用便益分析マニュアル (H30年2月)、道路投資の評価に関する指針 (案) 第1編 (H10年6月)、第2編 (H11年11月) (単位: 百万円)

区 分	事業着手時 H23年	今回再評価時		備考
		R2年	残事業B/C	
費用項目	改築費	4,873.1	8,409.5	3,995.5
	維持費	46.5	58.9	58.9
	総費用 (C)	4,919.6	8,468.4	4,054.4
便益項目	時間短縮便益	8,748.5	6,668.6	6,668.6
	走行経費減少便益	946.1	118.7	118.7
	事故減少便益	45.0	37.9	37.9
	3便益 ①	9,739.6	6,825.2	6,825.2
	環境改善便益	-2.5	1.3	1.3
	拡張便益	4,836.4	9,571.7	9,571.7
	その他便益 ②	4,833.9	9,573.0	9,573.0
	小計 (①+②)	14,573.5	16,398.2	16,398.2
修正便益 ③	5,144.4	6,669.5	6,669.5	
総便益 ①+②+③	19,717.9	23,067.7	23,067.7	
費用便益比 (B/C)	B(①+②)/C	3.0	1.9	4.0
(参考)修正費用便益比	B(①+②+③)/C	4.0	2.7	5.7

参考 将来交通量 9,200台/日 (R12) 12,700台/日 (R12)

- ①改築費: 道路建設に要する費用を基準年において現在価値化したもの。
- ②維持費: 道路の供用開始後50年間における維持管理費を基準年において現在価値化したもの。
- ③時間短縮便益: 道路の供用開始後50年間における自動車に乗車していなければ、生産活動を行うことにより産み出されるであろう価値 (資源価値)、または自動車に乗車している時間を、他の目的に使用できるなら支払ってもよいと思う金額 (行動価値) を、基準年において現在価値化したもの。
- ④走行経費減少便益: 道路の供用開始後50年間における燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費等の減少効果を、基準年において現在価値化したもの。
- ⑤事故減少便益: 道路の供用開始後50年間における人身事故、物損事故、救急や事故処理などに伴う公的損害、及び事故により発生する交通渋滞による損失の減少効果を、基準年において現在価値化したもの。
- ⑥環境改善便益: 道路の供用開始後50年間における大気汚染、騒音及び地球温暖化の道路整備による環境改善効果を、基準年において現在価値化したもの。
- ⑦拡張便益: 道路の供用開始後50年間における道路走行時の快適性、救急医療や消防等へのアクセス確保による緊急時に対する安心感などの効果を、基準年において現在価値化したもの。
- ⑧修正便益: 所得水準や物価基準といった地域間格差を考慮し、東京を基準 (1.0) とした各地域別の地域修正係数を乗じたもの。

4 環境対策の具体的内容

専門家による現地調査の結果により、施工についての指示事項等はない。

※評価対象事業の位置図、計画平面図、標準横断図等を添付のこと。

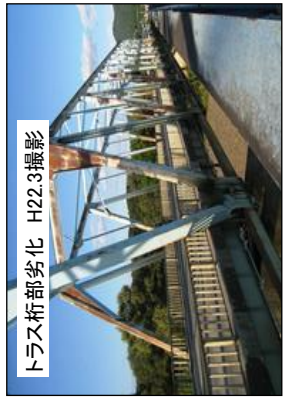
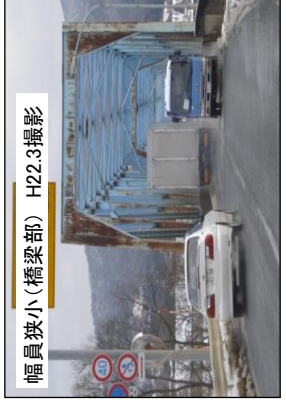
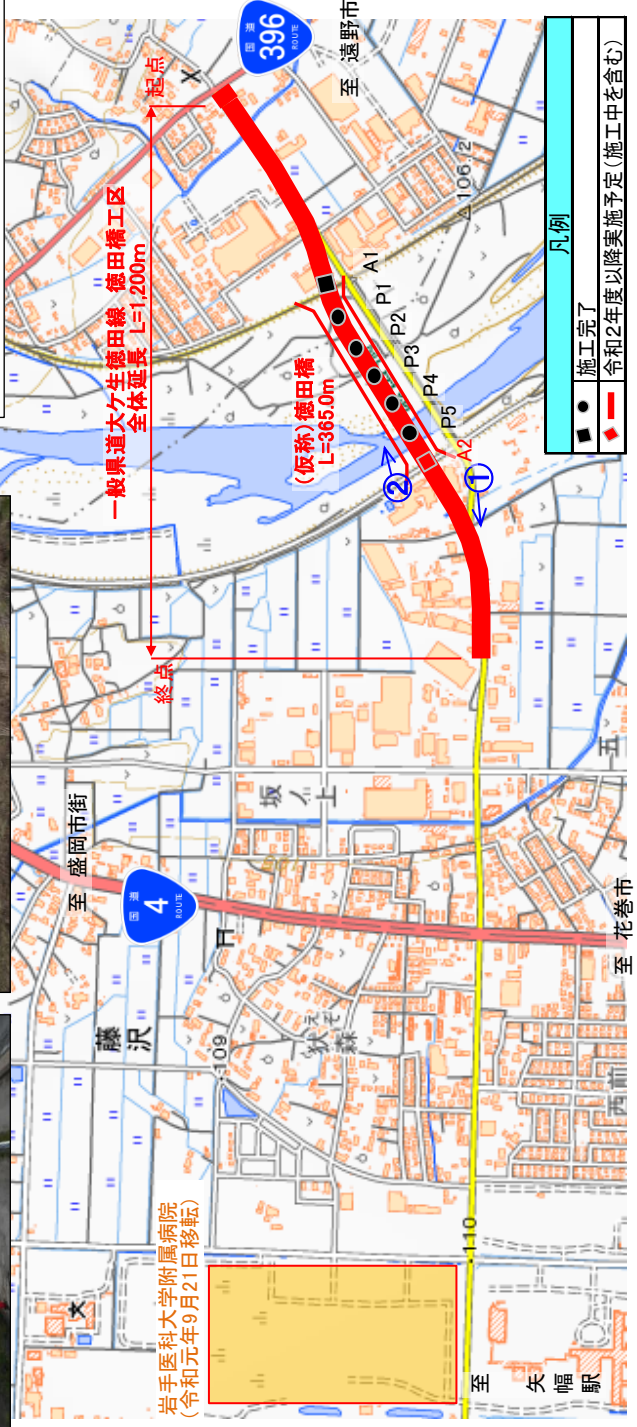
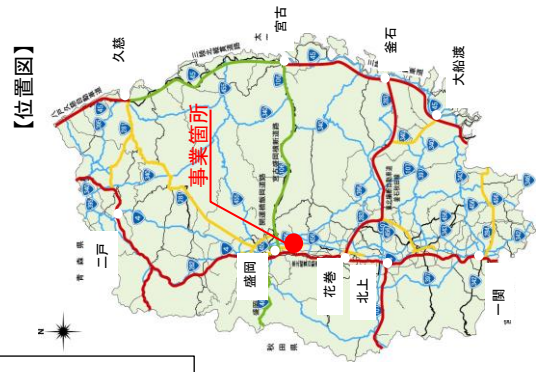
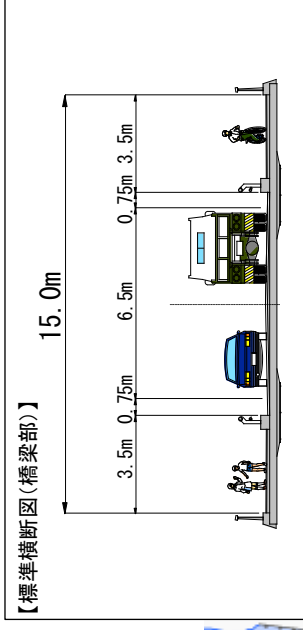
地域連携道路整備事業(地域密着型) (一) 大々生徳田線 徳田橋 実施状況図



①施工状況(一般部) R2.6撮影



②施工状況(下部工) R2.4撮影



費用対効果計算書

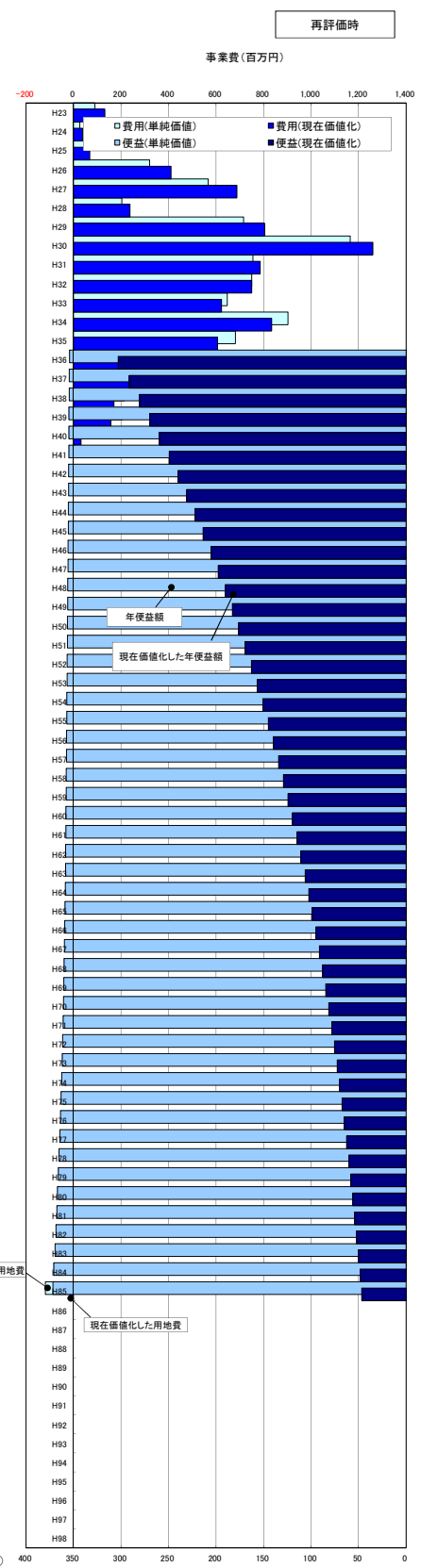
路線名: 大ヶ生徳田線		地区名: 徳田橋				単位: 百万円			
の 再 評 価 年 次	年次	現在価値 割引率	GDP デフレーター	費用		便益			
				建設費		維持管理費			
				費用	現在価値	費用	現在価値	便益額	現在価値
-13	H23	1.42331	99.8	90	131.9	0	0.0	0.0	0.0
-12	H24	1.36857	99.0	27	38.4	0	0.0	0.0	0.0
-11	H25	1.31593	99.0	50	68.3	0	0.0	0.0	0.0
-10	H26	1.26532	101.5	321	411.4	0	0.0	0.0	0.0
-9	H27	1.21665	103.0	567	688.5	0	0.0	0.0	0.0
-8	H28	1.16986	102.8	203	237.5	0	0.0	0.0	0.0
-7	H29	1.12486	102.8	716	805.4	0	0.0	0.0	0.0
-6	H30	1.08160	102.8	1,165	1,260.1	0	0.0	0.0	0.0
-5	H31	1.04000	102.8	756	786.2	0	0.0	0.0	0.0
-4	H32	1.00000	102.8	750	750.0	0	0.0	0.0	0.0
-3	H33	0.96154	102.8	648	623.1	0	0.0	0.0	0.0
-2	H34	0.92456	102.8	903	834.9	0	0.0	0.0	0.0
-1	H35	0.88900	102.8	682	606.3	0	0.0	0.0	0.0
0	H36	0.85480	102.8	502	429.1	3.084	2.6	354.2	302.8
1	H37	0.82193	102.8	479	393.7	3.084	2.5	354.3	291.2
2	H38	0.79031	102.8	216	170.7	3.084	2.4	354.5	280.2
3	H39	0.75992	102.8	207	157.3	3.084	2.3	354.6	269.5
4	H40	0.73069	102.8	43	31.4	3.084	2.3	354.8	259.2
5	H41	0.70259	102.8	0	0.0	3.084	2.2	354.9	249.3
6	H42	0.67556	102.8	0	0.0	3.084	2.1	355.1	239.9
7	H43	0.64958	102.8	0	0.0	3.084	2.0	355.2	230.7
8	H44	0.62460	102.8	0	0.0	3.084	1.9	355.4	222.0
9	H45	0.60057	102.8	0	0.0	3.084	1.9	355.5	213.5
10	H46	0.57748	102.8	0	0.0	3.084	1.8	355.7	205.4
11	H47	0.55526	102.8	0	0.0	3.084	1.7	355.8	197.6
12	H48	0.53391	102.8	0	0.0	3.084	1.6	356.0	190.1
13	H49	0.51337	102.8	0	0.0	3.084	1.6	356.1	182.8
14	H50	0.49363	102.8	0	0.0	3.084	1.5	356.3	175.9
15	H51	0.47464	102.8	0	0.0	3.084	1.5	356.4	169.2
16	H52	0.45639	102.8	0	0.0	3.084	1.4	356.6	162.7
17	H53	0.43883	102.8	0	0.0	3.084	1.4	356.7	156.5
18	H54	0.42196	102.8	0	0.0	3.084	1.3	356.9	150.6
19	H55	0.40573	102.8	0	0.0	3.084	1.3	357.1	144.9
20	H56	0.39012	102.8	0	0.0	3.084	1.2	357.2	139.4
21	H57	0.37512	102.8	0	0.0	3.084	1.2	357.4	134.1
22	H58	0.36069	102.8	0	0.0	3.084	1.1	357.5	128.9
23	H59	0.34682	102.8	0	0.0	3.084	1.1	357.7	124.1
24	H60	0.33348	102.8	0	0.0	3.084	1.0	357.8	119.3
25	H61	0.32065	102.8	0	0.0	3.084	1.0	358.0	114.8
26	H62	0.30832	102.8	0	0.0	3.084	1.0	358.1	110.4
27	H63	0.29646	102.8	0	0.0	3.084	0.9	358.3	106.2
28	H64	0.28506	102.8	0	0.0	3.084	0.9	358.6	102.2
29	H65	0.27409	102.8	0	0.0	3.084	0.8	358.8	98.3
30	H66	0.26355	102.8	0	0.0	3.084	0.8	359.1	94.6
31	H67	0.25342	102.8	0	0.0	3.084	0.8	359.4	91.1
32	H68	0.24367	102.8	0	0.0	3.084	0.8	359.7	87.6
33	H69	0.23430	102.8	0	0.0	3.084	0.7	360.1	84.4
34	H70	0.22529	102.8	0	0.0	3.084	0.7	360.5	81.2
35	H71	0.21662	102.8	0	0.0	3.084	0.7	360.9	78.2
36	H72	0.20829	102.8	0	0.0	3.084	0.6	361.4	75.3
37	H73	0.20028	102.8	0	0.0	3.084	0.6	361.9	72.5
38	H74	0.19257	102.8	0	0.0	3.084	0.6	362.5	69.8
39	H75	0.18517	102.8	0	0.0	3.084	0.6	363.1	67.2
40	H76	0.17805	102.8	0	0.0	3.084	0.5	363.7	64.8
41	H77	0.17120	102.8	0	0.0	3.084	0.5	364.4	62.4
42	H78	0.16461	102.8	0	0.0	3.084	0.5	365.1	60.1
43	H79	0.15828	102.8	0	0.0	3.084	0.5	365.9	57.9
44	H80	0.15219	102.8	0	0.0	3.084	0.5	366.7	55.8
45	H81	0.14634	102.8	0	0.0	3.084	0.5	367.6	53.8
46	H82	0.14071	102.8	0	0.0	3.084	0.4	368.5	51.9
47	H83	0.13530	102.8	0	0.0	3.084	0.4	369.5	50.0
48	H84	0.13010	102.8	0	0.0	3.084	0.4	370.6	48.2
49	H85	0.12509	102.8	-118	-14.7	3.084	0.4	371.7	46.5
50	H86	0.12028	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
51	H87	0.11566	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
52	H88	0.11121	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
53	H89	0.10693	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
54	H90	0.10282	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
55	H91	0.09886	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
56	H92	0.09506	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
57	H93	0.09140	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
58	H94	0.08789	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
59	H95	0.08451	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
60	H96	0.08126	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
61	H97	0.07813	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
62	H98	0.07513	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
				8,207	8,410	154	59	17,974	6,825 ①
									拡張便益 9,573 ②
									総便益 16,398 ①+②

(参考) 修正便益 6,670 ③

総便益B(①+②) 16,398 百万円
 総事業費C 8,469 百万円

B/C= 1.9

(参考) 修正費用便益比
 修正B/C=(①+②+③)/C= 2.7



費用対効果計算書

路線名: 大ヶ生徳田線			地区名: 徳田橋				単位: 百万円		
の 順 番 年 次	年次	現在価値 割引率	GDP デフレーター	費用				便益	
				建設費		維持管理費		便益額	現在価値
				費用	現在価値	費用	現在価値		
-13	H23	1.42331	99.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-12	H24	1.36857	99.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-11	H25	1.31593	99.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-10	H26	1.26532	101.5	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-9	H27	1.21665	103.0	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-8	H28	1.16986	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-7	H29	1.12486	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-6	H30	1.08160	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-5	H31	1.04000	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
-4	H32	1.00000	102.8	750	750.0	0	0.0	0.0	0.0
-3	H33	0.96154	102.8	648	623.1	0	0.0	0.0	0.0
-2	H34	0.92456	102.8	903	834.9	0	0.0	0.0	0.0
-1	H35	0.88900	102.8	682	606.3	0	0.0	0.0	0.0
0	H36	0.85480	102.8	502	429.1	3.084	2.6	354.2	302.8
1	H37	0.82193	102.8	479	393.7	3.084	2.5	354.3	291.2
2	H38	0.79031	102.8	216	170.7	3.084	2.4	354.5	280.2
3	H39	0.75992	102.8	207	157.3	3.084	2.3	354.6	269.5
4	H40	0.73069	102.8	43	31.4	3.084	2.3	354.8	259.2
5	H41	0.70259	102.8	0	0.0	3.084	2.2	354.9	249.3
6	H42	0.67556	102.8	0	0.0	3.084	2.1	355.1	239.9
7	H43	0.64958	102.8	0	0.0	3.084	2.0	355.2	230.7
8	H44	0.62460	102.8	0	0.0	3.084	1.9	355.4	222.0
9	H45	0.60057	102.8	0	0.0	3.084	1.9	355.5	213.5
10	H46	0.57748	102.8	0	0.0	3.084	1.8	355.7	205.4
11	H47	0.55526	102.8	0	0.0	3.084	1.7	355.8	197.6
12	H48	0.53391	102.8	0	0.0	3.084	1.6	356.0	190.1
13	H49	0.51337	102.8	0	0.0	3.084	1.6	356.1	182.8
14	H50	0.49363	102.8	0	0.0	3.084	1.5	356.3	175.9
15	H51	0.47464	102.8	0	0.0	3.084	1.5	356.4	169.2
16	H52	0.45639	102.8	0	0.0	3.084	1.4	356.6	162.7
17	H53	0.43883	102.8	0	0.0	3.084	1.4	356.7	156.5
18	H54	0.42196	102.8	0	0.0	3.084	1.3	356.9	150.6
19	H55	0.40573	102.8	0	0.0	3.084	1.3	357.1	144.9
20	H56	0.39012	102.8	0	0.0	3.084	1.2	357.2	139.4
21	H57	0.37512	102.8	0	0.0	3.084	1.2	357.4	134.1
22	H58	0.36069	102.8	0	0.0	3.084	1.1	357.5	128.9
23	H59	0.34682	102.8	0	0.0	3.084	1.1	357.7	124.1
24	H60	0.33348	102.8	0	0.0	3.084	1.0	357.8	119.3
25	H61	0.32065	102.8	0	0.0	3.084	1.0	358.0	114.8
26	H62	0.30832	102.8	0	0.0	3.084	1.0	358.1	110.4
27	H63	0.29646	102.8	0	0.0	3.084	0.9	358.3	106.2
28	H64	0.28506	102.8	0	0.0	3.084	0.9	358.6	102.2
29	H65	0.27409	102.8	0	0.0	3.084	0.8	358.8	98.3
30	H66	0.26355	102.8	0	0.0	3.084	0.8	359.1	94.6
31	H67	0.25342	102.8	0	0.0	3.084	0.8	359.4	91.1
32	H68	0.24367	102.8	0	0.0	3.084	0.8	359.7	87.6
33	H69	0.23430	102.8	0	0.0	3.084	0.7	360.1	84.4
34	H70	0.22529	102.8	0	0.0	3.084	0.7	360.5	81.2
35	H71	0.21662	102.8	0	0.0	3.084	0.7	360.9	78.2
36	H72	0.20829	102.8	0	0.0	3.084	0.6	361.4	75.3
37	H73	0.20028	102.8	0	0.0	3.084	0.6	361.9	72.5
38	H74	0.19257	102.8	0	0.0	3.084	0.6	362.5	69.8
39	H75	0.18517	102.8	0	0.0	3.084	0.6	363.1	67.2
40	H76	0.17805	102.8	0	0.0	3.084	0.5	363.7	64.8
41	H77	0.17120	102.8	0	0.0	3.084	0.5	364.4	62.4
42	H78	0.16461	102.8	0	0.0	3.084	0.5	365.1	60.1
43	H79	0.15828	102.8	0	0.0	3.084	0.5	365.9	57.9
44	H80	0.15219	102.8	0	0.0	3.084	0.5	366.7	55.8
45	H81	0.14634	102.8	0	0.0	3.084	0.5	367.6	53.8
46	H82	0.14071	102.8	0	0.0	3.084	0.4	368.5	51.9
47	H83	0.13530	102.8	0	0.0	3.084	0.4	369.5	50.0
48	H84	0.13010	102.8	0	0.0	3.084	0.4	370.6	48.2
49	H85	0.12509	102.8	-10	-1.3	3.084	0.4	371.7	46.5
50	H86	0.12028	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
51	H87	0.11566	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
52	H88	0.11121	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
53	H89	0.10693	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
54	H90	0.10282	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
55	H91	0.09886	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
56	H92	0.09506	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
57	H93	0.09140	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
58	H94	0.08789	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
59	H95	0.08451	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
60	H96	0.08126	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
61	H97	0.07813	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
62	H98	0.07513	102.8	0	0.0	0	0.0	0.0	0.0
				4,420	3,995	154	59	17,974	6,825 ①
									拡張便益 9,573 ②
									総便益 16,398 ①+②

(参考) 修正便益 6,670 ③

総便益B(①+②) 16,398 百万円
 総事業費C 4,054 百万円

B/C= 4.0

(参考) 修正費用便益比
 修正B/C=(①+②+③)/C= 5.7

